

## 令和5年度元気なコミュニティ特選団体の概要

| 番号 | 市町村名  | 団体名                     | 活動内容の概要  |
|----|-------|-------------------------|--|
| 1  | 盛岡市   | 特定非営利活動法人 種吉敏子ジャズミュージアム | ・著名な日本人ジャズピアニスト種吉敏子の功績を世界に向けて発信するためのミュージアムを盛岡バスセンター内のホテルロビーに開設。音楽を中心とする文化芸術に関する事業を行い、文化的に豊かな地域づくりに寄与することを目的とし活動している。   |
| 2  | 滝沢市   | 法誓寺自治会                  | ・法誓寺自治会は、盛岡市に隣接し宅地開発された地域にあり、人口増加に伴い平成7年に元村中央自治会より分離独立した自治会です。<br>・また、平成14年7月に発生した台風による水害経験から防災意識が高い地域でもあり、大雨等が発生した際には、防災活動に迅速に対応できる地域の団結力を持ち、地域住民が一体となった事業を実施しています。<br>・近年では、自治会の役員に子ども会や消防団を歴任した若い世代が多く参画し、地域の他団体と連携し、活動の情報共有が図られていることから、「夏祭り」「大運動会」「鮭稚魚放流会」等、子どもや若い親世代が参加しやすい自治会事業を積極的に行っています。  |
| 3  | 紫波町   | 特定非営利活動法人古館まちづくりの会      | ・紫波町古館地区は、他地域からの転入者が多く、核家族化、高齢化等により、住民の孤立化、地域コミュニティの形骸化などの地域課題が顕著になっている。そのため、社会教育施設である地区公民館を拠点にして、まちづくりに関心のある住民が集まり古館まちづくりの会を結成した。地域の課題やニーズに向き合い、関係機関や地域団体と協働して住民自ら課題解決に取り組み、今後も住み続けたいと思えるようなまちづくりの推進を行っている。<br>・地域の身近な相談受付、地域団体のサポート体制、地域の人材を活かす人材バンク事業、異世代交流の場づくり、こどもの居場所づくりとして放課後の学習サポート、地域連携型児童保育施設の運営、緊急時の在宅児童の支援や若者が中心となってHPや防災ポータルサイトの開設や各種イベント、地域ニーズの調査などの事業を展開している。   |
| 4  | 花巻市   | 幸田地区自治会                 | ・幸田地区は、三郎堤、八雲神社等の歴史的、文化的資産があり、岩手県指定無形民俗文化財の幸田神楽が古くから伝承されており、銀河の里、幸田物語などの福祉施設、未来に残したいふるさと花巻百選の幸田の棚田、JR金石線、国道283号、県道東和温泉線、関口街道等の交通網など、豊かな自然環境と豊富な地域資源に恵まれた地域であり、従来から各種団体が住みよい地域社会づくりに取組んできた。<br>・幸田地区自治会は、地域住民の親睦を図りながら良好な地域社会の維持及び形成に努め、もって住みよい地域づくりを推進していくことを目的に、平成6年度に発足した。<br>また、地域資源を生かし、幸田公民館をはじめ各種団体と連携を図りながら豊かで住みよいふるさとづくりに取組んでいる。   |
| 5  | 一関市   | 菅秀才史跡周辺保存会              | ・濁沼地内にある安楽寺(あんらくじ)は、「学問の神様として有名な菅原道真公を供養するため、道真公四男淳茂公(みちざねこうよなんなんあつしげこう)(地元では菅秀才公(かんしゅうさいこう))が建立したお寺」として伝えられている。安楽寺本堂裏手には道真公を祀る天満宮と秀才公を弔う精霊塔が残されており、地元の皆様により地域の史跡として代々大切に保存、整備されてきた。<br>・すべての地区民で地域の史跡を整備し、内外に発信することで地域おこしにつなげようと平成21年「菅秀才史跡周辺開発実行委員会」から「菅秀才史跡周辺保存会」を設立した。<br>・「道真公が好まれた梅」を数十本植栽、整備し、梅林やその周辺の環境整備を行っているほか、地区内の団体や酒造店と協力・分担して、梅干し、梅びしお、梅酒の生産、販売をしている。毎年年末には「太宰府天満宮」に奉納している。<br>また4月には、梅林ライトアップ、「観梅会(かんばいかい)」「(お花見マルシェ)を開催し、市内外から多くの方が来場し、報道機関にも取り上げられている。(コロナ禍により、3年間は中止。)<br>・安楽寺で行う「合格祈願祭」では、保存会から受験生に「合格絵馬」と「天神梅」が贈呈されている。 |
| 6  | 宮古市   | 和井内刈屋地域振興会(岩泉線レールバイク)   | ・平成26年4月にJR 岩泉線が廃線になり、更なる過疎化への拍車がかかることが懸念されたことから、地元有志が地域の活性化を目的に和井内刈屋地域振興会を結成し、残された軌道並びに付帯施設の活用方法としてレールバイク体験を考案した。JR から宮古市に譲渡された軌道敷及び駅舎施設等を市から無償で借り受け、平成28年から「岩泉線レールバイク」事業を開始した。<br>・施設設備と景観の保全に取り組むほか、体験型交流人口の増加により地域活性化の一助となっている。  |
| 7  | 大船渡市  | 特定非営利活動法人 居場所創造プロジェクト   | ・当該団体は、米国のNPO 法人、民間企業の支援を受けて東日本大震災からの復興拠点として建設された「居場所ハウス」の運営を担うため、平成25年に設立された。<br>・以来、高齢者を中心とした多世代の住民の憩いの場として、地域コミュニティの創出や、多世代交流の促進などに関わるイベントを開催しているほか、食堂運営、配食サービスの実施や、高齢者の買い物支援事業を実施するなど、地域課題の解決に向けた活動も行っている。   |
| 8  | 陸前高田市 | 矢作地区コミュニティ推進協議会         | ・矢作地区コミュニティ推進協議会(以下「協議会」)では、健康部、生活・福祉部、安全部、教育部及び地域部の5つの部を設置し、特に生活・福祉部における「うるおいやすらぎの家」の取組を通じ、定期的に高齢者を対象としたお茶飲み会や周辺の散歩等を行うサロンを開催しており、高齢者の健康づくりや見守りの場を提供している。<br>・また、協議会の近年の特徴的な取組として、地域部において下記の課題対策を行っている。<br>・矢作町内の二又地区は、市中心部から西側10 kmほどに位置しており、路線バスの本数も少なく運転免許を持たない高齢者(免許を所有していても、自分で運転し中心市街地まで行くことが困難な方)は、買い物や通院などで不便を強いられるという課題があった。<br>・この課題解決のため、令和3年から支え合い交通の実証実験を行い、令和4年9月から本格運行を開始した。毎週木曜日午前9時に出発し、乗車希望者の自宅付近から、市中心部の商業施設や金融機関を1往復する。   |
| 9  | 大槌町   | 花輪田自治会                  | ・この地区には、昔から住まれていた方と、昭和50年代大槌町で宅地造成し地域外から移転して来た方がおり、更には東日本大震災後、町方から移転されて来た方が混在しています。地域のコミュニティ形成を図るため住みよい地域づくりを目標に地区内の環境整備作業、高齢者対象のお茶っこの会、新年の親睦会、集会所周辺の清掃作業・花植え等を行っている。  |
| 10 | 山田町   | 教育振興運動轟木地区実践協議会「わらびの会」  | ・①轟木地区グリーン作戦及び畑の管理<br>通勤・通学路を中心とした轟木地区の清掃活動や、地区内の畑にさつまいもの苗を定植・収穫する活動を通じ、地域の連帯感を育む。<br>・②轟木地区グランドゴルフ大会並びに焼き芋収穫祭<br>地域内でグランドゴルフ大会を行い、健康増進や世代間交流を図るとともに、運動後は地域内で育て、収穫した焼き芋を皆で食し親睦を深める。<br>会報誌を定期的に作成し、町内広報に同封し地区住民にこれらの活動状況を周知している。   |
| 11 | 普代村   | 茂市部落会                   | ・岩手県普代村茂市地区で、高齢者サロンや中山間地域での新規作物の作付等農業生産などその他様々な地域活動を行っている自治会組織である。   |
| 12 | 野田村   | 特定非営利活動法人 風花            | ・障がいのある人もない人も共に支え合う共生の街づくりを目指す活動を通して、地域福祉の向上に寄与することを目的とし、野田村とその近隣市町村に住んでいる障がい児・者及びその家族に対して、住みなれた地域において安心して暮らすことができるよう、障がい福祉サービス事業、地域住民との交流事業等必要な支援を行っている。  |
| 13 | 一戸町   | 根反自治公民館                 | ・根反地区は中瀬、中村、野崎、野磯鶏の4つの集落から構成され、根反自治公民館として地域活動を実施している。人口流出や高齢化、耕作放棄地の増加、公民館としての活用や地域の郷土芸能である県指定無形民俗文化財、根反鹿踊りの稽古場所となっている根反自治公民館の老朽化等の課題がある。これらの課題解決の一助になればと地域住民が主体となり、春に苗を植えて夏に収穫する春まきたまねぎの栽培、販売に取り組むなど活発な活動を展開している。   |